



正しく使おう!コンタクトレンズ

コンタクトレンズは目に直接のせて使用する医療機器です。使い方を誤ると角膜潰瘍などの重い眼障害が発生することがあります。眼科医の指示や添付文書の取扱方法、レンズケアの方法に従い使用しましょう。

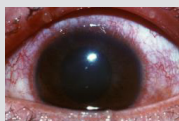
使用上の留意事項

- 眼科医に指示されたことを守りましょう。
- 自覚症状がなくても定期検査は必ず受けましょう。
- 目に異常を感じたら、速やかに眼科医の診察を受けましょう。
- 添付文書に書かれている内容を理解し、正しい取扱方法で使用しましょう。製品の名称、形状・構造・原理、使用目的・効果等は、添付文書に記載されています。必要な時に取扱方法や注意事項などを確認できるよう添付文書は大切に保管しましょう。



眼障害の危険性

コンタクトレンズの使用が原因で眼障害が発生することがあります。



充血



巨大乳頭結膜炎



角膜浸潤

不適正な使用により重篤な眼障害が発生する危険性が高まります。

重篤な眼障害の例



緑膿菌角膜潰瘍

19歳男性
ソフトコンタクトレンズを装着したまま就寝、翌日眼痛出現、2日後受診

- 不十分な洗浄・消毒など不適切なレンズケアや、長時間又は使用期間を超えた装用により、重篤な眼障害が発生する危険性があります。
- 治療せず放置すると重篤な眼障害や失明につながるものがあります。

適正な使用方法に関する情報

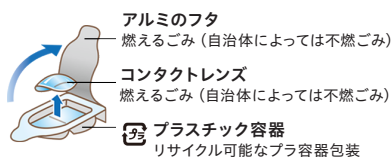
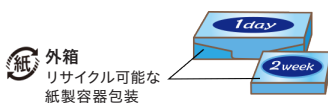


- レンズを取扱う前に必ず石鹸で手指を洗いましょう。
- 装用前にレンズに破損などの異常がないか確認し、異常が見つかったレンズは使用しないでください。
- 眼科医に指示された装用時間を守りましょう。
- 使用期間が決まっているレンズは、定期的に新しいレンズと交換しましょう。
- レンズに合ったケア用品を選んで使用しましょう。
- こすり洗いは、レンズ両面を十分に洗いましょう。
- ソフトコンタクトレンズは細菌などが繁殖しやすいので、毎日の洗浄と消毒は正しく行いましょう。
- レンズケースは使用後によく洗い自然乾燥するとともに、定期的に新しいものと交換しましょう。
- レンズやレンズケースの貸し借りはやめましょう。

コンタクトレンズの廃棄方法

- レンズや容器は、流しやトイレに廃棄しないでください。
- レンズや容器の廃棄は、自治体のゴミの分別ルールに従いましょう。

使い捨てソフトコンタクトレンズの場合



ソフトコンタクトレンズ用ケア用品の場合



外箱
リサイクル可能な
紙製容器包装



ボトル
リサイクル可能な
プラ容器包装



レンズケース
燃えるごみ
(自治体によっては
不燃ごみ)

※メーカーやレンズの種類により一部素材が違うことがあります。
※本例は一例です。必ず各自治体のゴミの分別について確認を行ってから、廃棄してください。